



外皮用殺菌消毒剤

*2014年11月改訂(第2版)
1999年12月改訂

日本薬局方 イソプロパノール Isopropanol

イソプロパノール「東海」

(成分：イソプロパノール 99%)

500mL

アルコール類 火気厳禁、危険等級Ⅱ、水溶性

製造番号

使用期限

* 製造販売元

東海製薬株式会社
名古屋市中川区江松一丁目105

貯法：気密容器に入れ、
火気を避けて保存
する。

使用期限：ラベルに記載

日本標準商品分類番号	872615
承認番号	(61AM)1845
薬価収載	1959年10月
販売開始	1961年8月
再評価結果	1983年4月

【禁忌】(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜〔損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。〕

*【組成・性状】

1. 組成

本品はイソプロパノール(C₃H₈O) 99vol%以上を含む。

2. 性状

本品は無色透明の液で、特異なにおいがある。

本品は水、メタノール、エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和する。

本品は燃えやすく、揮発性である。

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、医療機器の消毒

【用法・用量】

通常イソプロパノールとして、50~70%液を用いる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本剤が眼に入らないように注意すること。入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
- (2) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。(イソプロパノール蒸気に大量又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。)

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類/頻度	頻度不明
過敏症注)	発疹等
皮膚注)	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

4. 適用上の注意

- (1) 投与経路：外用にのみ使用すること。
- (2) 使用時
 - 1) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
 - 2) 本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
 - 3) 本剤は、引火性、爆発性があるため、火気に注意すること。

【薬効薬理】

本剤は使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、真菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。



キャップ:PVC
外装フィルム:PVC

GSI (調剤用)



(01)04987394112914

GSI

(販売用)



(01)14987394102912



4 987394 102915

JAN